

子どもたちが生きいき暮らす奈良を紡ぎます



ならつむ通信



vol.

4

特定非営利活動法人「青少年の自立を支える奈良の会」

平成27年12月25日発行

〒630-8114 奈良市芝辻町三丁目5-19 TEL/FAX 0742-33-2006 E-mail:arannoe@kcn.jp <http://web1.kcn.jp/arannoe/index.html>

法人理事長からのご挨拶

自立援助ホーム「あらの家」は平成25年4月に開設してから3度目の冬を迎えました。これも皆様のご支援の賜物と、篤く御礼申し上げます。決して、常套句や社交辞令などではなく、たくさんの有志の方々に食事ボランティアとして助けていただいたり、青少年の支援活動をしてられる方々（ここではあえてご芳名を表記しません）から、陰に日向に「あらの家の子どもたち」やスタッフ、あらの家の運営に、お心遣い・心温まるご支援・ご助力を賜り、言葉に表せないほど感謝申し上げます。

さらに、後記させていただく所存ですが、これまた多くの有縁無縁の方々からお菓子や野菜、お米などを拝領し、精神的・経済的に、皆様のお志をありがたく感謝しながら、日々を過ごしております。にもかかわらず、総会のご報告を含めて、本通信が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

あらの家の現状につきましては、多くの入所相談を受け、また実際に新しい子どもたちが入居してくれています。3人のスタッフは、浜田ホーム長の采配のもと、子どもたちにある意味“身を呈して”かかわってくれています。設立初期の理念＝子どもたちにとって温かい居場所、居心地の良いホームとして醸成されつつあると感じています。

世の中は、平成27年8月には大阪府寝屋川市でいたいけな二人の中学一年生の男女が不幸に見舞われたり、昨年は川崎市において少年がかけがえのない命を奪われるなどの事件が引きも切らず、連日のように子どもたちに関わるマスコミ報道が繰り返されています。〈自立援助ホーム〉の存在意義が……、期待がますます強くなりつつあることを感じて、身が引き締まる思いです。

今後とも、皆様のご理解・ご支援を強く期待しております。どうかよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 青少年の自立を支える奈良の会理事長

友廣 信逸

年末のご挨拶

支援者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも私たちの活動を物心両面から支えていただき、心より感謝申し上げます。

奈良県で初めて開設した「自立援助ホーム『あらの家』」もまもなく満3年を迎えることになりました。ご挨拶が遅れましたが、2015年4月よりホーム長をつとめさせていただいております浜田進士（はまだしんじ）と申します。初代の竹沢先生（現・理事）、二代目の友廣先生（理事長）に比べますと甚だ力不足ですが、この10ヶ月間、3名のスタッフ（斉藤・福間・茶谷）や役員そしてボランティアの方々となんとか入居者の居所提供・生活支援・就労支援を行ってまいりました。

満3年目を前にして、ようやく関係諸機関から信頼されるようになってきました。ただし、自主財源が乏しい中で、経営は大変脆弱な状態が続いております。つきましては、年末年始なにかとご多用中とは思いますが、会費の納入、ご寄付の提供をお願いしたいと思います。なにとぞよろしくお願いいたします。

12月15日現在、4名の青少年（男性）が入居しています（17歳2名、18歳2名）。また12月25日にはさらに1名（17歳）が入居予定です。私たちは、過酷な養育環境をくぐり抜けてきた青少年たちに、安心・安全な生活環境を保障します。大切なことは彼らの一人ひとりの話に丁寧に耳を傾けることです。貧困・虐待などの経験を通して、彼らの気持ちは語られないまま幾重にも折り重なった状態になっていることが多く、その気持ちはマイナスの感情や言動となって表れてくることがあります。私たちはその言動の裏側にある「私のことをたいせつにしてほしい」という「存在の受容」を常に心掛けたいと思っています。

また、「彼らから関係を断ち切らない限り、私たちからは絶対に関係を断ち切らない」という理念のもと、アフターケア事業として10名の退所後支援を続けています。

今後とも青少年の自立を支える奈良の会の活動にご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

自立援助ホーム「あらの家」

ホーム長 浜田 進士

5月31日（日）西部公民館において平成27年度NPO法人青少年の自立を支える奈良の会の総会を行いました。詳細を掲載いたします。

平成26年度 事業報告

1 青少年の自立を促進する事業

- ①入所受け入れに関する主な相談 計15件
- ②メール・電話・面接等による相談事業 計42件
- ③退所した児童のアフターケア事業（手紙のやり取り、面会、訪問、おかえり活動、電話相談等）

2 自立援助ホームの運営事業

- ①生活支援・就労支援に必要な関係機関との連携
- ②自治会・ハローワーク・協力企業・食事・泊りボランティアとの連携・子ども家庭相談センター・奈良市・教育委員会・児童養護施設・里親・弁護士会・警察署・社会福祉協議会・家庭裁判所・調停委員・奈良家庭・少年友の会

3 緊急一時保護事業 計1名

4 子どもの問題の啓発事業

- ニュースレター「ならつむ」およびパンフレットによる啓発活動
- 2講演会活動を通じての啓発活動 8月3日 島田妙子氏 11月23日 土井高德氏
- フェイスブック等電子通信による啓発活動 定期購読者405名（平成27年3月31日現在）
- 各種メディアを通じての啓発 読売新聞（平成26年8月4日）奈良新聞（平成26年10月14日）

5 退所した児童のアフターケア事業 手紙・面会・訪問・電話

あらの家の活動報告

1 入退所状況 入所児童 5名 退所児童 4名（退所理由：就労自立、委託終了、家庭引取）

2 運営のための会議

- 運営委員会（役員会）毎月第4木曜日
- スタッフ会議 隔週

3 職員研修会 17回

4 地域関係機関との連携

- 自治会（自治会総会・連絡会・草刈作業・小学校の溝掃除・さくらまつり警護）
- 奈良県子ども家庭センターネットワーク会議、ハローワーク（職場見学に同行、協力雇用主挨拶）

5 相談事業 電話相談・来所相談・メール相談

6 視察・見学の受け入れ 65日 136名

7 ボランティアの受け入れ 食事ボランティア 4名 日直・宿泊ボランティア 5名

8 退所した児童のおかえり活動 2名 6回

年間活動記録

月 日	
4月21日	全国自立援助ホーム協議会ホーム長会議
4月24日	運営委員会
4月	理事会
4月18日	ケースカンファレンス
5月22日	運営委員会
5月25日	平成25年度総会
5月27日	県子ども若者支援機関研修会参加
5月30日	奈良県児童福祉施設連盟主催研修
5月31日	京都自立援助ホーム東樹見学
6月12日	子ども若者支援機関研修会参加
6月19・20日	奈良県児童福祉施設連盟新任研修
6月26日	運営委員会
7月14・15日	全国自立援助ホーム協議会女性スタッフ研修会
7月24日	運営委員会
8月3日	島田妙子さん講演会
8月28日	運営委員会
9月25日	運営委員会 人事面接
10月23日	運営委員会
10月5日	臨時総会
11月22日	いのちの電話養成講座
11月23日	土井高德さん講演会
11月27日	運営委員会
11月27・28日	全国自立援助ホーム協議会全国交流会参加
12月5日	アフターケア奈良
12月9日	児童福祉専門援助講座研修
12月10日	ネットワーク会議
12月16日	アフターケア加古川
12月25日	運営委員会
1月23日	運営委員会
1月22日	アフターケア加古川
1月28・29日	全国自立援助ホーム協議会新規ホーム学習会
2月5日	アフターケア奈良
2月6日	滋賀県自立援助ホーム「ビツユユニット」見学
2月9日	和歌山県自立援助ホーム「わだちの家」見学
2月11日	京都自立援助ホーム「東樹」見学
2月14日	若者支援企画会議
2月15日	ケース会議
2月17日	大阪自立援助ホーム「アズール」見学
2月20日	京都自立援助ホーム「YOUの家」見学
2月26日	運営委員会
2月27日	アフターケア加古川
3月2日	神戸自立援助ホーム「子どもの家」見学
3月9日	特定非営利活動法人童心の会研修会
3月9日	大阪自立援助ホーム「ポ・ドーム」見学
3月27日	運営委員会
3月29日	理事会

平成 26 年度活動計算書

平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

I 経常収益	小 計	総 計
1、受取会費	162,000	
2、受取寄付金	157,000	
3、受取助成金等	17,326,478	
4、事業収益	508,939	
5、その他収益	2,209	
経常収益計		18,156,626
II 経常費用		
1、事業費		
(1) 人件費計	8,243,866	
(2) その他経費	4,692,670	
事業費計		12,936,536
2、管理費		
(1) 人件費	210,668	
(2) その他経費計	1,059,119	
管理費計		1,269,787
経常費用計		14,206,323
当期経常増減額		3,950,303
III 経常外収益計		0
IV 経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		3,950,303
法人税、住民税及び事業税		442
当期正味財産増減額		3,949,861
前期繰越正味財産額		7,269,523
次期繰越正味財産額		11,219,384



平成 26 年度は、皆様のご協力により、

以上のような収支となりました。

心より御礼申し上げます。



支援者の皆さまへ

物心両面から多大なるご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました！ (お名前は順不同。すべて敬省略)

正 会 員

高橋みのり／辻井啓之／松井第二／野島佳枝／友廣信逸／角林妙子／田辺美紀／前田泰宏／西村庄一／浜田進士／酒井孝江／西嶋嘉彦／勢渡満知子／西村聡恵／藤戸輝子／竹沢喜心／藤井直子／森久栄

賛助会員 ご寄付下さった方

平井光治／中村てつじ／太田晴子／津布久和美／本明子／田中智子／押切宣裕／宮坂光行／柳田安代／松崎真子／中江淳子／茂村振五／有信いづみ／大垣芳美／小寺美佐江／小西俊充／中熹大／叶原土筆／平原亮／奈良家庭裁判所少年友の会研修部

物品をくださった方

弓仲香織／松島靖朗／奈良家庭裁判所少年友の会研修部／桂淨薫／吉本正弘／カーブス／小田島好信／西域哲英

来訪者のみなさま ありがとうございました！

NPO法人青少年の自立を支える奈良の会

理事長：友廣信逸 **理事**：岡田悟（児童養護施設大和育成園園長）／竹澤喜心（児童虐待防止協会監事）／中川雅己（児童養護施設いかるが乳児院院長）／西嶋嘉彦（児童養護施設清心寮寮長）／浜田進士（子どもの権利条約総合研究所関西事務所長）／勢渡満知子（思春期保健相談士） **監事**：平井光治（NPO法人童心の会代表） **顧問**：岸岡靖郎（児童養護施設大和育成園次長）

設立賛同者：生田周二（奈良教育大学教授）／才村眞理（帝塚山大学教授）／島本太香子（奈良大学教授・産婦人科医）／田辺美紀（奈良弁護士会）／辻井啓之（奈良教育大学教授：内科医）／野島佳枝（奈良弁護士会）／廣井いずみ（奈良大学教授）／藤原正範（鈴鹿医療科学大学教授）／松宮満（関西福祉科学大学教授）

※50音順

今年度も皆様のご協力お願いいたします。

奈良市 芝辻町3丁目5-19

電話 0742-33-2006

自立援助ホーム「あらんの家」内

青少年の自立を支える奈良の会

口座番号

・郵便 00950-0-328932
トクヒ) 青少年の自立を支える奈良の会

賛助会員	年会費	3,000円
	学生会員	1,000円
	団体会員	10,000円

気長にお手伝いくださる方 大募集!!

子どもたちに社会経験をさせていただける

事業主様・自営業者様

NPO法人運営ボランティア

(IT詳しい方・お料理得意な方等)

編 集 後 記

「一年弱、何をしてたんやー」と言われる皆さまのお声が痛い……。一重に自分の生活の変動による怠慢とさせていただきます。本当に申し訳ございません。この間、子どもと生活を楽しめるよう、様々な工夫をしながらホームスタッフ、ボランティア一丸となり、頑張ってきました。

今日は、浜田ホーム長をはじめ、魅力的なスタッフの紹介をさせていただきます。子どもにとってみるとお兄さん的な存在、シャイな茶谷さん、ご飯の美味しいお母さん的な存在、紅一点の斉藤さん、常に冷静沈着、優しいお父さん的な存在の福間さんの3名です。その他ボランティアは理事3人、その他にも里親さんや食事ボランティアさんなど9人の登録を戴き、ご協力いただいております。心より感謝申し上げます。パワーあふれる子どもたちによる様々なハプニングにも負けず、突き進むしかない！のです。よろしくお願い致します。

運営者一同